

予算等審査 特別委員会

委員長 鈴木 広康
副委員長 石川 建治

本委員会は、全議員56名で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各会計・費目ごとに一問一答形式で質疑を行います。
委員会は、2月19日から11日間開催され、延べ79名の委員が約34時間にわたり質疑を行いました。
主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

自由民主党・仙台

菊地 崇良 委員

○連携中核都市圏構想や戦略特区を拡充し、東北内での広域連携による政策立案を
○津波避難と復興に伴う街区等の変化を踏まえた都市計画道路などを見直し
○被災した六郷・七郷地区などの学校諸問題の早期解決
○新地方教育法における誰もが納得できる教科書採択要領
やしろ 美香 委員
○仕事と子育ての両立支援など女性の活躍推進策は行政が率先して導入すべき。
○短時間勤務制度の創設のほか、職員に対する子育て支援策を新たに策定する。
○住民票のコンビニ交付などICT活用による利便性向上
○男女共同参画の次期プラン
○新たないじめ対策の概要
○校務支援システムを導入
齋藤 範夫 委員
○東日本大震災からの復興で得られた知識や技術を積極的に国内外に発信せよ。
○住宅再建への施策の構築や多重防壁による被災などに取り組んできた。得られた教訓や知見の発信は被災自治体の責務と考えており、積極的に努めたい。

公明党

会計・費目別の主な質疑項目(総務費)

○震災メモリアルプロジェクトの推進には、東部沿岸地域に居住していた方の意見を伺いながら進めるべき
○市民協働で実施されている105の市民活動事業を分かりやすく広報し、検証を行う情報システムを構築すべき
○分りやすい情報提供に努め、事業の評価や分析の取り組みも検討したい。
○健康福祉費
○風疹抗体検査により免疫のない方へ予防接種費用助成を
○震災復興計画の最終年度を迎え、この間の総括と残り1年の取り組みについて伺う。
住まじと生活の再建が正念場を迎える年と認識し、全力を挙げて取り組んでいく。
○道路や街路樹は高齢者や障害のある方に配慮した管理が重要。必要な予算措置をせよ。
田村 稔 委員
○地方創生が重要課題となる中、ふるさと納税のお礼として地場産品を送ることは自治体の産業の発展や経済活動の活性化に寄与するものと考えられるが、考えを伺う。
○寄附に伴う税の優遇措置を周知しながら、お礼のあり方も工夫した制度の活用が基本と考えており、一定の節度の中で検討してまいりたい。
野田 謙 委員
○フィギュアスケート発祥の地である五色沼に、本市金メダリストの銅像を設置し新たな観光資源とすべき
○スケートリンクの整備を青葉山公園整備計画を変更して二スコートの再整備を
○生活の支障となる街路樹は地域要望を踏まえ早急に対応を
○円銀治公園自転車等駐車場の稼働率向上
佐藤 正昭 委員
○東西線開業に伴う動物園、水族館との連携を伺う。
○沿線にある集客施設との連携は地下鉄利用者の増や周辺の渋滞対策の面からも有効であり、協議を進めていく。
○五色沼にオリピック金メダリストの記念碑の設置を
○設置場所やデザイン等



大手門脇橋

市民フォーラム仙台

安孫子 雅浩 委員

○市長の市民観と市民協働に係る条例案の取り下げ問題
○市役所組織を正し、幹部職員の連携と組織力の向上を
○東北の中核都市としての仙台市が持つべき視座
○正しい国語教育、歴史教育への認識と新教育長の任命
○膨張する福祉行政予算と福祉施策、その課題と認識
渡辺 公一 委員
○中小企業の活性化における本市の役割を伺う。
○条例に中小企業者の創意工夫、自主性を明記し、やる気のある企業が力を発揮できるような支援に取り組み。
○本市の観光地としての魅力

自由民主党

小島 勇朗 委員

○市立病院の救急医療・政策医療体制の充実を求める。
○診療報酬改定の動向等も見極める必要があるが、人員体制の整備にさらに努めたい。
○診療待ち時間の短縮対策を
○医療待ち時間の短縮対策を
○農業園芸センターの再整備
○市民農園開設促進の取り組み
○雇用面での被災者支援の充実
ひぐち のりこ 委員
○27年度保育利用料の考え方
○台帳システム整備による市民健康と予防接種の効果的勧奨
○保健所組織一元化の在り方
○自転車道の左側通行促進策として矢羽根サイン等路面標示を
○健康面からの自転車利用促進
○杜の都防災メールや緊急時のメール・ホームページの課題
相沢 和紀 委員
○東部被災地の早期整備の方策
・かさ上げ道路の強度増進
・地勢に合った避難の丘整備

みんなの仙台

柳橋 邦彦 委員

○職員、教員の不適切事務処理や青葉区選挙管理委員会での白票水増し、さらに条例案撤回やラクビの責任を問う
○子ども医療費助成はワンコイン負担をやめ、中学3年生の通院まで対象を広げよう
○窓口を遠ざけサービス後退を招く職員削減はやめよ
高見 のり子 委員
○蒲生北部区画整理事業は干渉を保全せず被災者へ負担を強いるもので中止すべき
○集団移転や現地再建地区等の集会所へ光熱水費補助を
○情報紙「みらいん」の継続
花木 則彰 委員
○バス路線再編は公共交通充実と反する。郊外部はコミュニティバスを運行せよ。



被災者のコミュニティ支援に役立つ「みらいん」は継続を

自由民主党

大泉 鉄之助 委員

○開発型地下鉄である東西線の開業が迫る中、沿線開発に注力する組織を構築すべき
○市長・副市長のもと関係協力を網羅する体制を作り、格別な開発誘導策を展開する。
○「新生・仙台」実現の原動力となる本市未来像の具体化
○災害対策法見直しへの決意
○「新生・仙台」実現の原動力となる本市未来像の具体化
○災害対策法見直しへの決意
○「新生・仙台」実現の原動力となる本市未来像の具体化
○災害対策法見直しへの決意

自由民主党

庄司 俊充 委員

○選挙強化には遠征費等保護者や指導者の負担が大きくなり、トップアスリート育成の環境整備と支援が必要だ。
○競技団体と連携しながら環境づくりに努めていく。
○今後の土曜授業の考え方
○道徳教育の推進と家庭連携
○インターネットのいじめ対策

自由民主党

大泉 鉄之助 委員

○被災した沿岸部や都市部の過密過疎の状況変化に伴う消防団員の定数を踏まえ、消防団の多様な役割を
○被災した沿岸部や都市部の過密過疎の状況変化に伴う消防団員の定数を踏まえ、消防団の多様な役割を
○被災した沿岸部や都市部の過密過疎の状況変化に伴う消防団員の定数を踏まえ、消防団の多様な役割を



華やかな華道家料理(写真提供:旧伊達邸「鐘景園」)

自由民主党

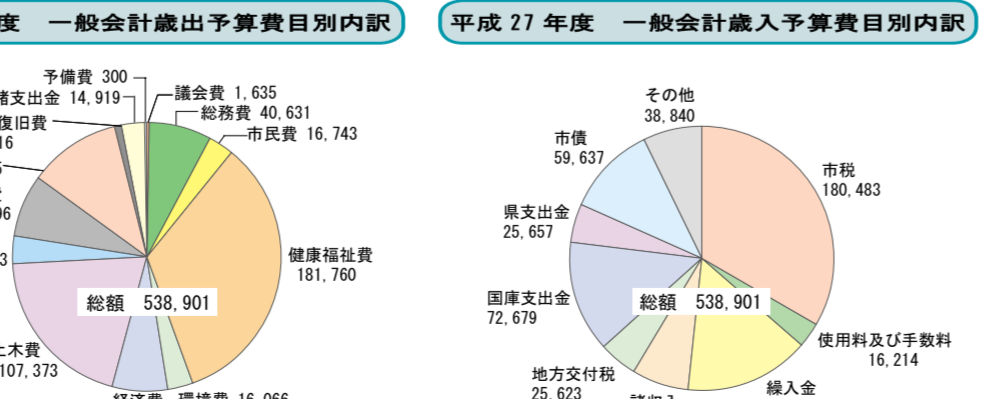
大泉 鉄之助 委員

○被災した沿岸部や都市部の過密過疎の状況変化に伴う消防団員の定数を踏まえ、消防団の多様な役割を
○被災した沿岸部や都市部の過密過疎の状況変化に伴う消防団員の定数を踏まえ、消防団の多様な役割を



沿線への開発が期待される地下鉄東西線(写真は国際センター駅周辺)

平成27年度一般会計歳出予算総括表。表には一般会計、特別会計、企業会計の各項目と当年初予算額、対前年度比(%)が記載されている。



平成27年度 市税の内訳表。市税180,483.3万円の構成比率と対前年度比(%)を示している。